

# 関東ふれあいの道(栃木)⑨松風のみち

2024年3月22日 池内淑浩

2024年1月12日、年が明けて寒い最中ではあったが、「⑨松風のみち」を歩いた。  
今日は二つのコース(⑨松風のみち 7.3km、⑩かかしの里・ぶどうの道 10.8km)を歩いて、小山に一泊する。  
日暮れが早いので、明るいうちに里に下らなければならないから、休憩も程ほどに急いで歩く事になる。



「⑨松風のみち」案内板。東武鉄道佐野線 田沼駅構内にある



歩行概念図 公称 7.3km 歩程 3時間 10分(実際には 9.1km・4時間かかった)



JR 両毛線佐野駅で、東武鉄道佐野線に乗り換える



駅前の背後は、中世「佐野城」跡で、市の史跡となっている。乗り換え時間があったので立ち寄ってみた。佐野の町は佐野城の城下町でもある



慶長 7 年(1602)唐沢山城主佐野信吉が築城した。典型的な山城である。

慶長 12 年唐沢山城を廃して、ここに移ったが、慶長 19 年(1614)所領を没収されて改易となり、廃城となった



東武佐野線「田沼駅」で降りる。9時35分 乗り換えるに時間を取られた



駅を降りてすぐ、道標に従って踏切を渡る



踏切を渡れば、別格官幣社 唐沢山神社道の石柱があるから、それに従って歩いて行く



栃木小学校のユニークな塀の前に、道標があつた



鳥居を潜ればもう神域だ



唐沢山神社は、唐沢山(240m)の頂上にあるから、当然山道を登る事になる



唐沢山は標高 200mそこそこであるが、少ししんどい



山道の中に石標が置かれていた、ゴールの村檜神社まで 1.3kmある



これは当然のマナーである



高度を稼ぐと、関東平野が見渡せるようになる



「唐沢山城跡」今から1000年ほど前、平安時代末期、ここに山城が築かれた。天慶の乱(938)で平将門を滅ぼした藤原秀郷が築城した。



秀郷の後は、佐野氏が引継ぎ代々の居城としたが、江戸時代に入って廃城となった



「唐沢山神社」本丸跡に建てられた。祭神は天慶年間(938～947)ここに城を築いた藤原秀郷となっている



参拝が済んだら、尾根通しに山を下ってゆく



山裾をめぐり



小尾根を通り抜け



麓に降りれば、杉林を歩き



枯れ葉を踏んで





京路戸峠(きょうろととうげ)に到着 12:30 予定より遅い



まずは、午前中のゴールすべき村檜神社まで急げ！



諏訪岳(324m)の山裾を巻くように下ると、村檜神社に着く



「村檜神社」大化 2 年(646)創建と伝える。



祭神：菅田分命、熊野大神、大山祇神 小さいながら端正な造り



この社、室町時代の築で、春日造りの檜皮葺。明治 14 年国指定重要文化財に指定

[参考タイム] 東武田沼駅(9:35)→神社鳥居(10:05-10:10)→唐沢山神社(11:10-11:20)  
→京路戸峠(12:30-12:50(昼))→村檜神社(13:25)ゴール

この項完

**「関東ふれあいの道(栃木)⑩かかしの里ぶどうのみち」に続く**